



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 アジア・アライアンス・  
ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高森 幸太郎  
(コード番号：9318 東証第 2 部)  
問合せ先 経営企画部長 上野 弘行  
(TEL：03-5638-8562)

**平成 24 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間 業績見込みと  
前年同期実績との差異に関するお知らせ**

当社の平成 24 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間 業績見込みにつきまして、前年同期実績との比較で適時開示規則に定める目安以上の差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）  
業績見込み

(単位：百万円)

|                                      | 売上高   | 営業損益 | 経常損益 | 純損益    |
|--------------------------------------|-------|------|------|--------|
| 平成 23 年 3 月期第 2 四半期<br>連結累計期間実績 (A)  | 2,892 | △443 | △481 | △1,410 |
| 平成 24 年 3 月期第 2 四半期<br>連結累計期間見込み (B) | 2,399 | △69  | 7    | △84    |
| 増減額 (B－A)                            | △492  | 373  | 488  | 1,326  |
| 増減率 (%)                              | △17.0 | —    | —    | —      |

2. 前年同期実績との差異の主要な理由

(1) 売上高について

株式会社六合および土岐南テクノヒルズ開発株式会社の売上高が増加した一方で、前第 1 四半期末を以て医療法人社団杏林会が連結対象から除外となったこと等により、当第 2 四半期連結累計期間売上高は 2,399 百万円（前年同期は 2,892 百万円）となり、前年同期比で減少する見込みであります。

(2) 営業損益について

上記の要因に加え、土岐南テクノヒルズ開発株式会社の営業損益が黒字に転じたこと等により、当第 2 四半期連結累計期間営業損失は 69 百万円（前年同期は損失 443 百万円）となり、前年同期比で損失額が減少する見込みであります。

(3) 経常損益について

上記の要因に加え、保有する株式の配当金を受領したこと等により、当第2四半期連結累計期間経常利益は7百万円（前年同期は損失481百万円）となり、前年同期比で改善する見込みであります。

(4) 純損益について

上記の要因に加え、特別利益・特別損失の計上額が僅少にとどまったこと等により、当第2四半期連結累計期間純損失は84百万円（前年同期は損失1,410百万円）となり、前年同期比で損失額が減少する見込みであります。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の数値は、今後の様々な要因によって上記の予想値等と異なる場合があります。